



ALWAYS IN ADVANCE OF TIMES,
DAIDO CORPORATION HAS
STEADILY GROWN BY PROVIDING
SUPERIOR PRODUCTS AND SERVICE.



高反射率塗料 051-0845
(カラーファルトクール)

アスファルト路面用太陽熱反射塗料

COLOR PHALT[®] COOL

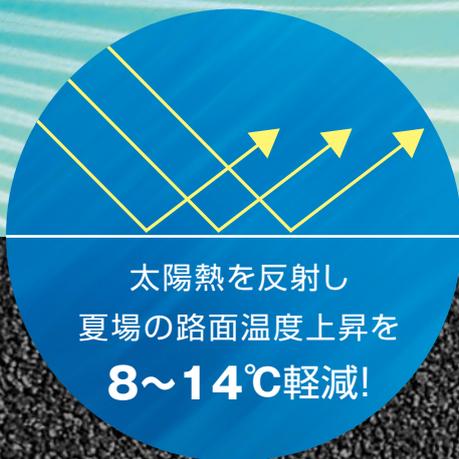
カラーファルト[®]クール

薄膜水性1液型アクリル樹脂系遮熱型

COLOR PHALT[®] COOLNEO

カラーファルト[®]クールネオ

薄膜水性2液型アクリルウレタン樹脂系遮熱型



太陽熱を反射し
夏場の路面温度上昇を
8~14℃軽減!

「カラーファルト クール」「カラーファルト クールネオ」は、
水系のアスファルト路面用太陽熱高反射塗料です。

路面に塗装することで**表面温度を大幅に低減し**、

夏場におけるアスファルト面から立ち上がる熱気の上昇を軽減させ

^{わだち}**轍掘れ**や**ヒートアイランド現象**を**抑制**する効果を発揮します。

また「カラーファルト クールネオ」は2液型で**塗膜物性に優れ**、

より**耐久性**が求められる箇所への塗装も可能となります。

特長

1 未塗装アスファルト面と比較して
8～14℃の表面温度差が
確認されています。

2 水系塗料のため**低臭**で、
アスファルト面へ塗装しても
ブリードの心配がほとんどありません。

3 **速乾性に優れ**自転車や台車などの
軽車両が通行したり多くの人が往来する
通路や床面に適しており、
「カラーファルト クールネオ」は駐車場などの
より**耐久性**が求められる箇所への塗装も可能です。

(ただし、幹線道路のように重車両が絶えず行き来する路面には
摩耗性という観点から不向きです。)

4 カラーファルト クールは**落ち着いた
ツヤ消し仕上げ**になりますので、
目がチカチカすることがほとんどなく、
**遊歩道や公園、
テーマパークやレジャー施設
などに最適**です。

用途

カラーファルト®クール

自転車道 **遊歩道** **公園** 等の遮熱カラー塗装

陸屋根 等のアスファルト、コンクリート及びモルタル面や
アスファルト防水材、シート防水等への
遮熱カラー塗装
(モルタル面、シート防水面へは別途専用プライマーが必要です。)

カラーファルト®クールネオ

自転車道 **遊歩道** **公園** 等の遮熱カラー塗装

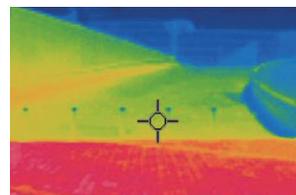
駐車場 **工場構内** 等の耐久性が必要とされる
アスファルト、コンクリート
及びモルタル面

施工例

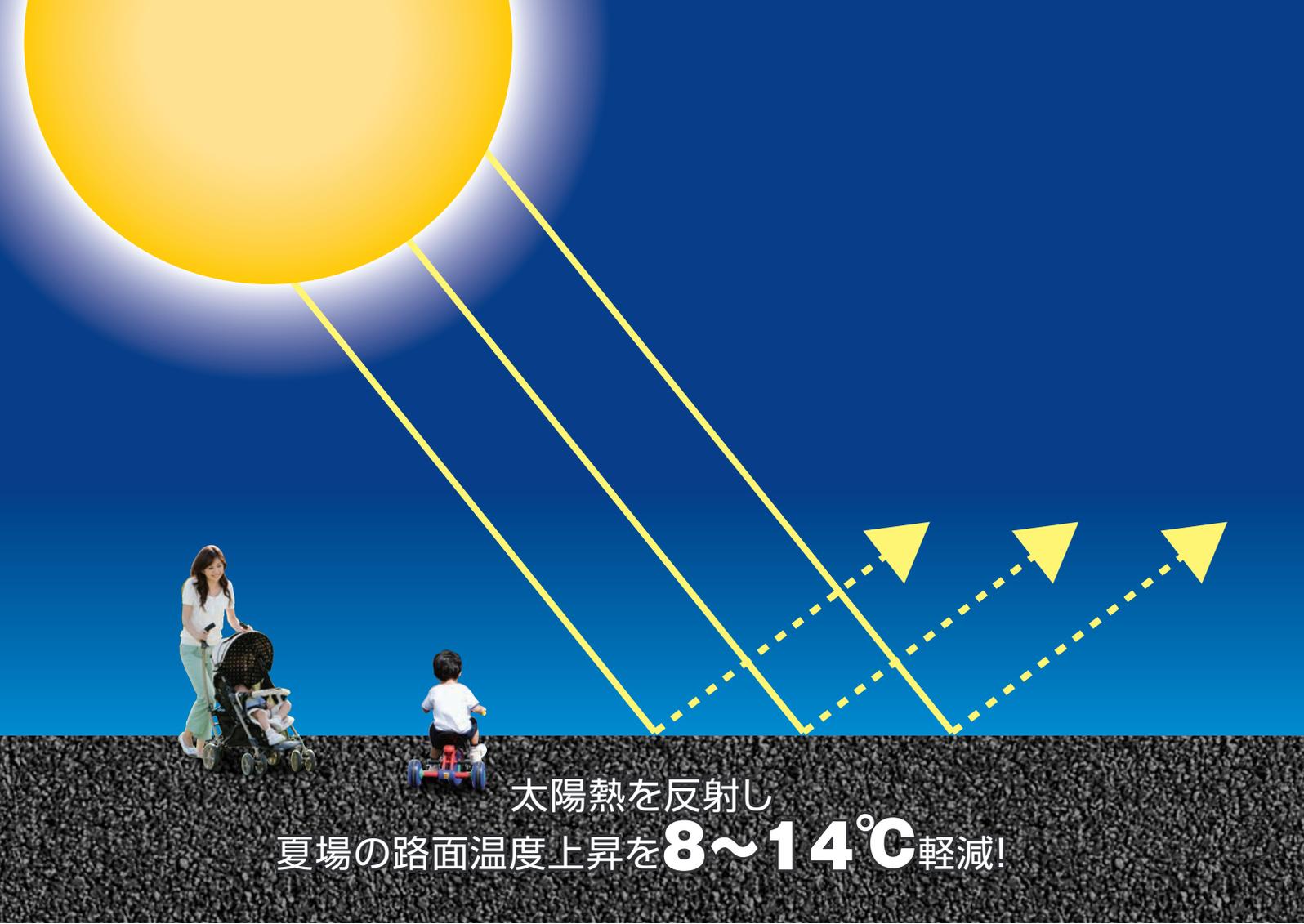
大阪市舞洲ベースボールスタジアム エントランスデッキスロープ遮熱塗装



グレー(N6)施工



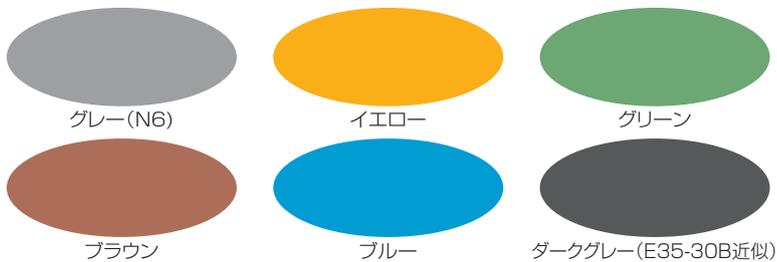
サーモグラフィ画像



太陽熱を反射し
夏場の路面温度上昇を**8~14°C**軽減!

Colors

※色見本は印刷のため色調が異なります。(ユカクリート標準色見本帳をご参照下さい。)

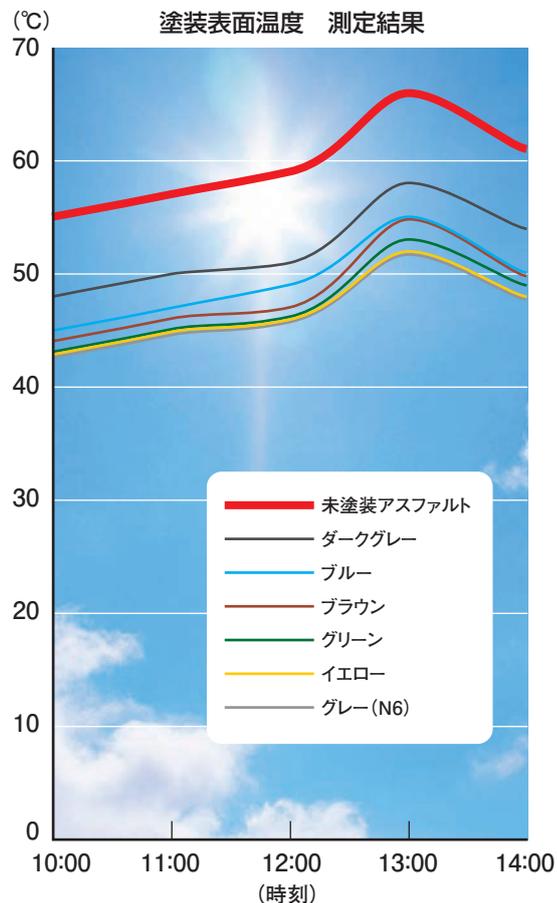


カラーファルト クールは艶消し、カラーファルト クールネオは艶有りです。
 上記、色見本6色の他に(白)もございます。

日射反射率

※下記数値は測定値であり性能を保証する数値ではありません。

試験結果	標準色	全波長域(%)	近赤外域(%)	明度(L*値)
カラーファルト クール	グレー(N6)	47.0	70.6	58.9
	イエロー	57.6	73.5	71.8
	グリーン	55.0	80.0	65.2
	ブラウン	57.7	82.9	56.7
	ブルー	53.4	80.6	63.1
	ダークグレー	23.1	41.5	34.1
カラーファルト クールネオ	グレー(N6)	46.8	68.9	59.8
	イエロー	61.7	75.9	74.4
	グリーン	44.8	65.5	63.1
	ブラウン	49.3	71.3	57.2
	ブルー	49.6	73.3	61.4
	ダークグレー	25.1	45.5	31.5



アスファルト路面用太陽熱反射塗料

COLOR PHALT[®] COOL

カラーファルト。クール

COLOR PHALT[®] COOLNEO

カラーファルト。クールネオ

容量と塗装面積

品名	材質	配合比(質量)	容量			塗装面積(m ² /回/缶)
ユカクリート 水系プライマーC	水溶性 カチオン	—	4kg			コンクリート及び モルタル面 20~40/ 4kg
			15kg			コンクリート及び モルタル面 75~150/15kg
カラーファルト クール	水系 アクリル	—	15kg			コンクリート及び モルタル面 50~75/15kg
						アスファルト面 38~50/15kg
ユカクリート ミズユカプライマー	水系 エポキシ	主剤:硬化剤 = 1:1	4kg セット	主剤	2.0kg	コンクリート及び モルタル面 27~31/ 4kgセット
				硬化剤	2.0kg	アスファルト面 13~20/ 4kgセット
			16kg セット	主剤	8.0kg	コンクリート及び モルタル面 106~123/16kgセット
				硬化剤	8.0kg	アスファルト面 53~80/16kgセット
カラーファルト クールネオ	水系 アクリル ウレタン	主剤:硬化剤 = 5:1	15kg セット	主剤	12.5kg	コンクリート及び モルタル面 75~100/15kgセット
				硬化剤	2.5kg	アスファルト面 37~50/15kgセット

可使時間と硬化時間

単位: 時間

品名		10℃	20℃	30℃
ユカクリート 水系プライマーC	可使時間	—	—	—
	硬化時間	8	4	2
カラーファルト クール	可使時間	—	—	—
	硬化時間	8	4	2
ユカクリート ミズユカプライマー	可使時間	3	2	1
	硬化時間	6	3	2
カラーファルト クールネオ	可使時間	4	4	2*
	硬化時間	24	16	8

※夏期の炎天下で塗装する場合、可使時間が短くなることがあります。材料は直射日光が当たらない場所で保管し、攪拌後はすぐに使用して下さい。



塗装仕様

下地処理工程

アスファルト面	下地	<ul style="list-style-type: none"> ・新設アスファルトコンクリートは厚さ6cm以上で、十分転圧されていて強度があり密粒とします。 ・亀裂、継ぎ目などが無いものとします。
	下地処理	<ul style="list-style-type: none"> ・転圧直後は表面に油分が残っているので、養生(1週間以上)をとり、養生後は、油分を洗剤、高圧水洗などで洗い流します。 ・アスファルトの粉、ガム、油脂類、セメントなどの汚染物を除きます。 ・降雨などにより濡れたアスファルトの表面は完全に乾燥させます。
コンクリート及びモルタル面	下地	<ul style="list-style-type: none"> ・下地コンクリート及びモルタル面は金ゴテ仕上げで、十分強度があるものとします。 ・通常、モルタルは打設後2週間以上、コンクリートは4週間以上の養生が必要です。
	下地処理	<ul style="list-style-type: none"> ・含水調査はポリエチレンフィルムを床面に敷き、周囲をテープで密封して翌日(16時間後)開封する手順で行い、床面が黒っぽく濡れたりフィルムに結露していないこととします。 ・また、含水率は、デジタル式水分計で5%以下を目安とします。 ・必ず全面をサンドペーパーがけ(P24~P40)により目荒しを行い、汚染物やレイタンスなどを除去します。 ・油脂、グリース、タールなどはシンナーか洗剤で除去します。 ・必要に応じてクラック、穴などを補修します。

下地処理後の塗装工程

カラーファルト。クール

工程	品名	希釈剤 希釈率(%)	塗回数 (回)	塗付量 (kg/m ² /回)	塗装方法	塗装間隔 (23℃)
上塗	カラーファルト クール	清水 0~3	2	0.30~0.40	はけ ローラー	4時間以上 7日以内
	7号珪砂			0.06~0.08		

カラーファルト。クールネオ

工程	品名	希釈剤 希釈率(%)	塗回数 (回)	塗付量 (kg/m ² /回)	塗装方法	塗装間隔 (23℃)
下塗	ユカクリート ミズユカプライマー	清水 0~10	1	0.20~0.30	はけ ローラー	3時間以上 7日以内
中塗	カラーファルト クールネオ	清水 5~10	1	0.30~0.40	はけ ローラー	16時間以上 3日以内
	7号珪砂			0.09~0.12		
上塗	カラーファルト クールネオ	清水 5~10	1	0.30	はけ ローラー	
	7号珪砂			0.09		

カラーファルト。クール

工程	品名	希釈剤 希釈率(%)	塗回数 (回)	塗付量 (kg/m ² /回)	塗装方法	塗装間隔 (23℃)
下塗	ユカクリート 水系プライマーC	—	1	0.10~0.20	はけ ローラー	4時間以上 7日以内
上塗	カラーファルト クール	清水 0~3	2	0.20~0.30	はけ ローラー	4時間以上 7日以内

カラーファルト。クールネオ

工程	品名	希釈剤 希釈率(%)	塗回数 (回)	塗付量 (kg/m ² /回)	塗装方法	塗装間隔 (23℃)
下塗	ユカクリート ミズユカプライマー	清水 0~10	1	0.13~0.15	はけ ローラー	3時間以上 7日以内
上塗	カラーファルト クールネオ	清水 5~10	2	0.13~0.16	はけ ローラー	16時間以上 3日以内



施工上の注意

共通

- 1.新設アスファルトで転圧後すぐに塗装したい場合は、中性洗剤とデッキブラシを使って表面の油分を入念に除去し、高圧水洗機などで丁寧に洗い流して十分に乾燥させてから塗装して下さい。また1週間以上放置しても表面の油分が十分に消失しない場合も、アスファルトコンクリートの養生日数を十分にとるか、同様に処置して下さい。
- 2.塗付量は素地の状態によって増減します。特に、アスファルト面はその転圧の程度によってかなり大きく増減しますので注意して下さい。
- 3.防滑仕上げでローラー塗装する場合は、ローラー目がやや目立ちやすくなりますので、ローラー作業は一方向に決めて仕上げるようにして下さい。
- 4.気温5℃以下や、相対湿度80%以上での施工は避けて下さい。
- 5.降雨、降雪時、または塗膜が乾燥するまでにその恐れがある時は、塗装を避けて下さい。
- 6.一回での厚塗りは避けて下さい。中濃み状態を引き起こし乾燥不良となる場合があります。
- 7.塗装時から硬化中の色の変化が大きいので、塗装直後と乾燥後の発色にかなりの差がありますのでご注意下さい。
- 8.塗装には中長毛から長毛ローラーが適しています。

カラーファルト クール

- 1.長く水に浸かるような場所には塗装しないで下さい。
- 2.アスファルトへの塗装は必ず珪砂を混入し、希釈は3%以内で塗装して下さい。

カラーファルト クールネオ

- 1.透水性アスファルトコンクリートや粗面アスファルトコンクリートは吸い込みが激しく、仕上がり不良となる場合があります。また、塗付量が多くなりすぎて、将来、ワレが生じることがありますのでご注意下さい。
- 2.主剤と硬化剤を混合するときには、必ず電動ミキサーで2~3分間十分に攪拌して下さい。
- 3.缶に残った硬化剤は清水を加えずに、ヘラ等でかき出して下さい。また、希釈水は主剤と硬化剤を十分に混合してから加えて下さい。清水が硬化剤に直接接触すると、ゲル物が発生し、クレームの原因になりますのでご注意下さい。
- 4.小分けして使用する場合には、主剤を電動ミキサーでよく攪拌した後に混合比率を守って正確に主剤と硬化剤を計量して下さい。
- 5.混合後、可使用時間を経過した塗料は絶対に使用しないで下さい。見た目の変化がなく塗装可能な粘度ですが、十分な塗膜性能ができません。
- 6.気温35℃以上の炎天下で使用すると30分程で皮張りますのでご注意下さい。

ユカクリート 水系プライマーC

- 1.塗装したはけ、ローラーは、カラーファルト クールの塗装には使用しないで下さい。
- 2.道具は使用後直ちに水で洗浄して下さい。洗いはカラーファルト クール等の水性塗料と別にして下さい。
- 3.鉄を錆びさせますので、サゲツ等はプラスチック製のものが適しています。
- 4.他の水性塗料との混合は避けて下さい。

●カラーファルト クールをアスファルト防水材やシート防水材等へ塗装する場合はご相談下さい。



本社 〒532-0032 大阪市淀川区三津屋北2丁目14番18号 TEL.06(6308)6288 FAX.06(6308)3618
 東京支店 〒135-0031 東京都江東区佐賀1丁目18番8号 TEL.03(3642)8431 FAX.03(3643)5560
 名古屋支店 〒452-0962 愛知県清須市春日流7番地1 TEL.052(409)8711 FAX.052(409)8716
 大阪支店 〒532-0032 大阪市淀川区三津屋北2丁目14番18号 TEL.06(6308)6281 FAX.06(6308)3512
 エゾアツグ事務部 〒532-0032 大阪市淀川区三津屋北2丁目14番18号 TEL.06(6308)4011 FAX.06(6308)6416
 福岡営業所 〒812-0051 福岡市東区箱崎ふ頭5丁目8番18号 TEL.092(641)2025 FAX.092(641)4022
 札幌営業所 〒061-3244 石狩市新港南3丁目704番地8 TEL.0133(76)6177 FAX.0133(76)6178
 千葉営業所 〒270-1403 千葉県白井市河原寺木戸場364番地13 TEL.047(492)1901 FAX.047(492)1903
 神奈川営業所 〒252-0244 神奈川県相模原市中央区田名2507番地10 TEL.042(764)4835 FAX.042(764)4836
 滋賀営業所 〒524-0051 滋賀県守山市三宅町561番地 TEL.077(583)2234 FAX.077(583)3964
 姫路営業所 〒670-0073 兵庫県姫路市御立中5丁目12番22号 TEL.079(299)5959 FAX.079(299)5960
 広島営業所 〒733-0833 広島市西区商工センター4丁目5番15号 TEL.082(277)6464 FAX.082(277)6461

本社工場 〒532-0032 大阪市淀川区三津屋北2丁目14番18号 TEL.06(6308)6281 FAX.06(6308)3512
 滋賀工場 〒524-0051 滋賀県守山市三宅町561番地 TEL.077(583)2234 FAX.077(583)3964

ホームページアドレス <https://www.daido-toryo.co.jp>



製品の規格及び仕様は改良等のため予告なく変更する場合があります。